**研　究　倫　理　審　査　申　請　書**

20　　年　　　月　　　日

立命館大学長　殿

研究責任者（申請者）＊予算や施設・設備についても責任を負える者を記載してください。

印

氏　　　名：

所属・職位：

TEL／内線：

E-mail：

下記の研究について、倫理審査を申請いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| **1.研究課題名** | ＊課題名は原則様式間で統一してください。 |
| **2.研究代表者** | 所属・職位・氏名・役割：  ＊所属は大学名等を含め、正確にお書きください。  （記載例）  立命館大学スポーツ健康科学研究科　博士課程後期課程2回生　○○　○○（研究計画立案、論文執筆） |
| **3.共同研究者** | 所属・職位・氏名・役割：  ＊学生は回生も記載してください。  ＊この研究でのそれぞれの役割を簡潔に記載してください。  ＊医師がいる場合、その旨を記載してください。  （記載例）  立命館大学理工学研究科 博士課程後期課程1回生 ○○ ○○（データの解析）  立命館大学スポーツ健康科学部 教授（医師）○○　○○（採血・問診） |
| **4.指導研究者** | 所属・職位・氏名：  ＊学部生・院生は記載すること。 |
| **5.研究期間** | 研究機関の長の許可日　～　20　　年　　月　　日  ＊最大3年以内で設定すること。 |
| **6.研究の種別** | 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に該当する研究  ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に該当する研究（遺伝子配列解析：含む　含まない）  上記の指針に該当しない人を対象とする研究  ＊人医学系指針第１章第２およびヒトゲノム指針第１の２をご確認の上、いずれかにチェックしてください。 |
| **7.侵襲の有無** | 侵襲を伴わない研究　　 軽微な侵襲を伴う研究　　 侵襲（軽微な侵襲を除く。）を伴う研究  ＊侵襲とは、研究目的で行われる、穿刺、切開、薬物投与、放射線照射、心的外傷に触れる質問などが該当し、軽微な侵襲とは、傷害及び負担が小さい侵襲で、例えば一般検診で行われる採血、放射線照射、造影剤を用いないMRI、少量の上乗せ穿刺、組織採取などが該当します。詳しくは研究倫理ハンドブックの「侵襲について」をご確認ください。 |
| **8.介入の有無** | 介入を行わない研究　　 介入を行う研究  ＊介入とは、研究目的で人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因の有無又は程度を制御する行為をいい、医療における傷病の予防や診断又は治療のための投薬、検査のほか、生活指導、栄養指導、食事療法、作業療法等が考えられます。詳しくは研究倫理ハンドブックの「介入について」ご確認ください。 |
| **9.迅速審査** | 希望しない  希望する  立命館大学 人を対象とする医学系研究倫理規程第12条（1）※1に該当するため  立命館大学 人を対象とする医学系研究倫理規程第12条（2）※1に該当するため  立命館大学 人を対象とする医学系研究倫理規程第12条（3）※1に該当するため  6.研究の種別が「上記の指針に該当しない人を対象とする研究」のため |
| **10.添付書類** | 1.チェックシート　　2.研究倫理審査申請書（本紙）　　3.研究計画書  4.研究対象者への説明文書　　5.同意書・同意撤回書　　6.参考文献  7.調査用紙・アンケート用紙　　8.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※1～5はWORDデータ、6.7はPDFデータで、メール添付で事務局へご提出ください。 |

※1

（迅速審査）

　第12条　委員会は、審査を行う研究が次の各号のいずれかに該当すると委員長が認める場合は、委員長が指名する委員2名による審査（以下「迅速審査」という。）によることができる。

（1）他の研究機関と共同して実施される研究であって、既に当該研究の全体について共同研究機関において倫理審査委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見を得ている場合の審査

（2）侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものに関する審査

（3）軽微な侵襲を伴う研究であって介入を行わないものに関する審査